



40周年を喜び飛躍を願い万歳

昭和30年1月1日、旧柿岡町、小幡村、芦穂村、恋瀬村、瓦会村、園部村、林村、小桜村の1町7か村が合併、八郷町が誕生しました。以来、40年多くの人たちが英知を結集して明るく住みよい八郷町を築くために努力が重ねられてきました。2月22日に行われた記念式典は、合併40周年を迎えた喜びを皆さんと共に分かち合い、未来に向かってさらなる飛躍の願いをこめて、万歳三唱で締めくくられました。



上田町議会副議長の発声で会場全員が万歳を三唱

◇町の人口(3月1日現在) 男15,213人 女15,546人 計30,759人(前月比-14) 世帯数7,694世帯(前月比+6)

記念 式典を挙行



八郷町発展のために、それぞれの分野で活躍され、大きな功績を残した方々が招かれ、町から表彰を受けました。昭和30年1月1日、八郷町が誕生してから40年の歴史は、受彰された皆さんをはじめ、多くの町民の皆さんが知恵と力を結集し、積み重ねてきたものです。

次に迎える50周年は21世紀です。八郷町は、これからも皆さんにささえられ、さらに住みよい町づくりを旨として、着実に歩みを進めて行かなければなりません。

町政功労者など70名を表彰

八郷町合併四十周年記念及び新庁舎竣工式典が、去る二月二十二日、八郷町中央公民館で盛大に行われました。

式典には、地元選出の国会議員、近隣の市町村長をはじめ、各種団体長や区長など、町内外から約六百名が招待され、吉田次郎元町長など多年町発展のために功績のあった七十名に表彰状と記念品が贈られました。

式典で受彰された方々は次のとおりです。

〔町政功労表彰〕▼多年町長として町政発展に貢献 吉田次郎（柿岡）、岩本佳之（須釜）、中村謙一（柿岡）、▼多年町議会議員として町政発展

に貢献 富田新一（下林）、永井清（東成井）、真家正一（真家）鈴木栄治（瓦谷）、野内和夫（柿岡）、木村利（大増）、足立光稀岡、松崎唯夫（川又）、山田保

（山崎）、小松崎長太（柿岡）、関忠治（川又）、川井伸夫（柿岡）、島田重郎（野田）

〔自治功労表彰〕▼助役として町政発展に貢献 木崎真（上青柳）桜井芳郎（下林）、鈴木武夫（下林）関野和夫（小幡）、鈴木修照（瓦谷）▼収入役として町政発展に貢献 小林栄三（須釜）、桜井源五左衛門（小幡）、瀬尾茂（柿岡）、吉川浩（上林）▼多年農業委員として町政発展に貢献 鬼澤操（小幡）

ごあいさつ

八郷町長 桜井盾夫

八郷町合併四十周年記念、新庁舎竣工式典を多数の来賓及び町民の皆様のご臨席をいただき盛大に開催できますことを心からお喜び申し上げます。

本町は、恵まれた自然環境のもと、町民のためまぬ努力と関係機関のご支援により、豊かな農村社会として発展をしてまいりました。

近年は、教育文化施設の充実や茨城県フラワーパーク・畜産

試験場の誘致ほか、上水道や下水道の整備・都市計画事業の推進など都市的生活環境も整えつつありさらなる発展をしようとしています。

これも町民の皆様や国県をはじめとして、関係機関のご協力やご支援の賜と深く感謝申し上げます。

また、町民の長い間の念願であった新庁舎がこのほど、中央公民館の隣接地に完成し、今後の行政の中心として、新たな第一歩を踏

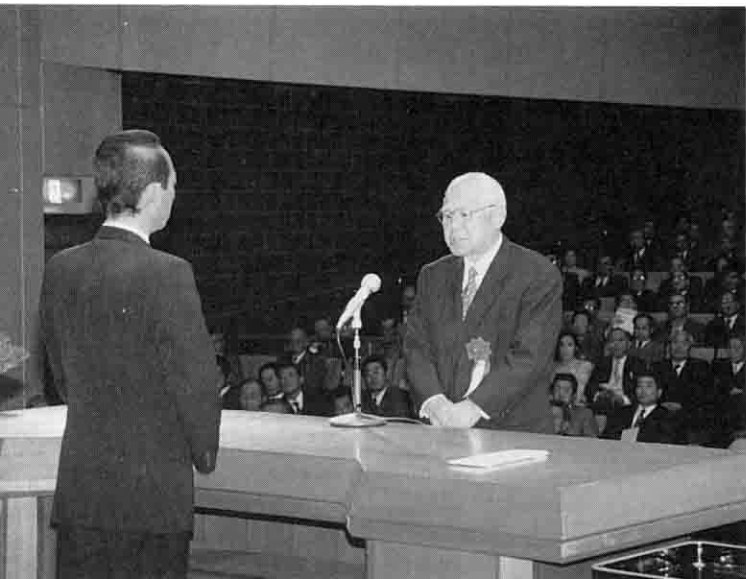
み出しました。

新庁舎は町のシンボルとして町民に愛され親しまれ、本町の大きな発展に欠かせない存在になるものと確信しております。

今後、問近かに迫った二十世紀にむけて、次世代に誇れるまちづくりを進めてまいりたいと考えておりますので、町民の皆様や関係機関のご指導ご支援をよろしくお願い申し上げます。

平成七年二月二十二日

合併40周年 庁舎竣工



受彰者を代表して、岩本佳之元町長が、「記念すべき年にあたり、受彰の栄に浴することは光栄であるとともに、町のさらなる発展を祈ります」と謝辞を述べました。



ごあいさつ

八郷町議会議長 島田重郎

本日、ここに、八郷町合併四十周年記念・新庁舎竣工式典が盛大に執り行われ、多数の来賓および町民の皆様のご臨席をいただき、心から祝意を表します。

本町は、昭和三十年一町七か村の合併により誕生以来、恵まれた自然環境のもと、農業を中心に産業経済、教育文化など着実に発展してまいりました。このように、日々進展を続けることができますのは、茨城県をは

じめ、関係機関のご指導と町民各位の力強いご支援の賜と感謝いたします。更に、加えて、町民の長い間の念願であった新庁舎が完成、八郷町の新しいシンボルにふさわしい近代感覚のもとに、品位と重厚さを兼ね備えたものであり喜びに堪えません。近代的な庁舎は、町民の福祉を一段と増進すべく行政事務の効率化、合理化が図られますし、特に、窓口事務は従来までの不便さが解消されるものと存

じます。職員各位には、これを契機に住民サービスのより一層の向上を期されるようお願いいたします。議会といたしましては、決意を新たに、町民の付託に応えるべく使命達成に邁進して参ります。二十一世紀に向けて明るく住み良い町造りをめざし、八郷町がさらに大きく飛躍できますよう、皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

平成七年二月二十二日

▼多年区長として町政に貢献 島田哲男（山崎）、関昌信（片野）
青木昭光（大増）、桜井芳夫（大増）、関弘司（川又）▼多年納税組合長として町政発展に貢献 鈴木文夫（柿岡）島田茂（須釜）
塚本由（小幡）小松崎森司（小幡）
飛田進（大塚）岡野重巳（大塚）
真家正一（真家）桜井光一（半田）
▼多年町職員として町政発展に貢献 三輪長夫（柿岡）田口美江（石岡市）久保田茂（須釜）飯村嘉男（太田）上曾忠（柿岡）久保田貴美（宮ヶ崎）足立毅（小幡）峯政雄（上曾）川俣忠（千代田町）
笹沼登（下林）鯉渕徳松（柿岡）

池田公恵（千代田町）関香椎（石岡市）真家せつ（柿岡）鯉渕栄子（柿岡）穂積宏子（小倉）江畑志津江（片野）松田和夫（柿岡）
池田幸枝（千代田町）清水洋子（石岡市）
〔教育功労者表彰〕▼教育長として教育の振興に貢献 小河原四郎（瓦谷）、根本興元（小幡）、本図亨（吉生）▼多年教育委員として教育の振興に貢献 足立作右衛門（小屋）▼多年学校医として学校保健の充実に貢献 江畑隆夫（柿岡）▼多年林小へ多額の寄付をして教育の振興に貢献 皆川四郎平（東京）〔民生福祉功労者表彰〕

▼多年民生委員として教育の振興に貢献 中島定右衛門（小倉）、比企たま（小幡）、軽部直（上曾）▼百寿会連合会長として老人福祉の向上に貢献 穂積克（柿岡）
〔庁舎建設関係感謝状贈呈者〕
▼庁舎設計に貢献 ㈱日総建（東京）▼庁舎建設工事に貢献 日本国土開発㈱（水戸）▼駐車場建設工事に貢献 ㈱沼尻工務店（野田）
㈱峯工務店（柿岡）▼庁舎周辺植栽工事に貢献 町造園業協同組合（吉生）▼駐車場植栽工事に貢献 大枝グリーンサービス（柿岡）
▼駐車場用地に協力 富田富蔵（柿岡）川井保（同）（敬称略、順不同）

歌謡ステージ「春の歌声」を開催

1部・2部合わせて1,200名入場



左から相川浩アナウンサー、前川清さん、神野美伽さん、大石円さん



第1部（午後1時開場）には、午前8時ごろから待っている方もいました。

合併四十周年記念・歌謡ステージ「春の歌声」が、去る二月二十六日、中央公民館で行われました。これは、NHK水戸放送局の後援により、FM放送番組の公開録音という形で行われたもので、歌手の前川清さん、神野美伽さん、大石円さんの三人を迎えて、相川浩アナウンサーが司会をつとめました。

一部と二部の二回のステージに、合わせて約一千二百名が入場、相川アナウンサーの軽妙な司会で、歌の合い間のインタビューなども楽しく、会場の皆さんは、三人の歌手の迫力ある演歌の歌声を堪能しました。



しっとりと聞かせる演歌のホープ大石円さん

演歌の魅力



直立不動で独特のスタイルの前川清さん



踊りも入り威勢のよい神野美伽さんの歌

たっぷりと

震災義援金

皆さんの善意に感謝します

阪神大震災（兵庫県南部地震）の被災地の皆さんが、正常な社会生活を送ることができるようになるには、まだまだ多くの時間と費用が必要であることは明らかです。これから、さらに多方面からの適切な支援が復興への活力につながるでしょう。

八日から三月二日までに届けられた団体・個人名及び金額は次のとおりです。

柿岡小学校児童会三万五千五百円、南中学校生徒会十一万六千円、恋瀬地区区長会六十一万四千円、朝日小学校児童会二万七千七百四十円、柿岡中学校生徒会十五万一千九百二十二円、二八会一万四千八百二十三円、恋瀬保育所父母の会一千五百五十円、役場募金箱による募金二万二千五百六十三円、四十周年記念歌謡フェスティバルでの募金十二万九千七百一十一円、八郷町遺族会三万四千円、辺歌良生家久楽武一同八万二千六百九十五円、八郷スキークラブ三万一千円、蒼書道塾有志一同四万四千円、瓦会小学校児童職員一同十三万四千九百一十二円、園部小学校十一万九百三十三円、阿彦正雄六千四百二十七円（敬称略）

朝日小学校児童代表の皆さん



皆さんの善意に心から感謝するとともに、今後ともご協力をお願いいたします。

シリーズ 元気はつらつわれらの先生 (10)

燃えてる先生は真すぐ勝負

今月は、小幡小学校六年二組担任の村田則文先生をたずねました。



村田 則文先生

村田先生は岩瀬町の出身で、小幡小へ転任して二年になります。趣味はゴルフや野球ですが、ゴルフは長期の休みでないとなかなかできないので、地元の同級生でチームをつくって、もっぱら野球をやっているそうです。

先生は、中学生のころテレビの人気ドラマ「金八先生」に心を動かされ、教師になる夢をいだいていました。そして、努力のかいあって現在、教師の道を歩んでいます。クラスの子どもたちに先生の人柄など聞いたところ、「何事にも一直線、燃えているという感じ」と声をそろえた答えが返ってきました。やはり「金八先生」のイメージが。



小幡小学校6年2組の皆さん

Q 先生の失敗談などは。
A ある女の先生に「腕を組んでくれませんか」と聞いたら「はい」という返事。喜んでいたところがその女性性は腕組みをしていたというとはけた話。

Q 先生の好物は。
A 酒・タバコ……など

Q 先生へのひこと。
A タバコの吸い過ぎに注意して、早くいい人見つけて結婚してください。

「校門から筑波山を眺める景色は最高。環境は素晴らしいですね」という先生、「こうした環境の中で育ってきた素直な子どもたちや、温かみがあり協力的な父母の皆さんに囲まれていることは恵まれています」とも話していました。

子どもたちには、「何事にも全力投球で」また、自分自身は、常に子どもと共に歩み、教師は子どもの弁護士であれという考え方で教壇に立っています。卒業を控えた子どもたちが、しっかりと成長した姿に先生は嬉しそうでした。

町には、「子どもが安心して生活できる環境を」との要望でした。子どもたちへのインタビューを紹介します。

Q 先生のどんなところが好き
A 授業のときなど、リラックスさせようといっしょうけんめいギヤグヤを考えてくれる。そして、何事にも一直線という姿。

Q 先生はどんなことに厳しい。
A 授業中のおしゃべりや忘れ物約束事は守るということ。先生は気合棒と根性棒という仕置き棒を持っている。でもこのごろ効果がなくなってきたかな。

町長の日記帳から



40周年と庁舎竣工式

二月の主な動向はつぎのとおりです。

一日(水)JAやさと農畜産物直売所地鎮祭

五日(日)元県議会議員桜井平左衛門氏(町長の父)葬儀

六日(月)～十五日(水)平成七年度予算査定

八日(水)議会全員協議会

十日(金)間伐技術講習会

十四日(火)区長連合会役員会、農協養蚕部総会

二十日(月)石岡地方農業共済事務組合議会、キャンプ場協議

二十一日(火)産業文化事業団役員会、平成六年度補正予算査定

二十二日(水)八郷町合併四十周年記念・新庁舎竣工式典

二十三日(木)柿岡商店街協同組合との懇談会

二十四日(金)湖北環境衛生組合、石岡たばこ販売協同組合懇談会

二十六日(日)合併四十周年記念イベント歌謡フェスティバル「春の歌声」

二十七日(月)実施計画打合せ

二十八日(火)石岡地方斎場組合正副管理者会議

八郷町合併四十周年記念・新庁舎竣工式典は、多数の来賓及び町民の方々五百名が出席されまして盛大に開催することができました。

本町は、昭和三十年一町七か村が合併して誕生以来、恵まれた自然環境のもと、町民のため、豊かな農村社会として発展を遂げました。近年は、教育文化施設の充実やフラワーパーク、畜産試験場の誘致、下水道の整備、都市計画事業の推進など都市的生活環境も整い、さらなる発展をめざしています。

また、長い間の念願であった新庁舎がこのほど完成し、行政の中心として新たな第一歩を踏み出しました。新庁舎は町のシンボルとして町民に愛され親しまれ、本町の発展に欠かせない存在になるものと確信しています。間近かに迫った二十一世紀にむけて新しい出発の時でした。

優良農業後継者をたずねて (1)

小松崎さんのビニールハウスは金指から下林へ通じる道路を入った恋瀬川近くに、水田を利用して建っていました。六十坪の長さのものが三棟、三十五坪のものが八棟、総面積二千二百坪のハウスでイチゴ栽培に取り組んでいます。ほかに水稲を作っていますが、これは食べる程度で経営の中心はイチゴです。

小松崎さんが、会社勤めをやめて農業を継ぐ決心をしたのは、まだ最近のこと。「不況などの影響もあって」と転向の理由をあげました。しかし、これまで農業をやるうという気持ちが全くなかったわけではありません。というのも、高校で農業を学び、さらに、県立農業大学校に進んで、しっかりと農業の基礎をつくってきました。

小松崎さんが農業大学に通っているころ、小松崎さんの家では、養蚕に力を入れており、それにシメジを組み合わせた農業経営でした。そういう関係もあって、小松崎さんが農業大学で学んだのは養蚕の分野でした。しかし、養蚕にかげりが見えはじめ、また、シメジも原木などの調達難などから、父親の英雄さんは、他の作物への

父親を越えるいちご作りへ 若い力を傾ける

金指 小松崎 幹 司さん (24)



午前中はハウスの中で収穫に忙しい小松崎さん

転換を考え、ハウスイチゴの栽培を始めました。

小松崎さんは言います「自分が会社勤めをやめて農業をやるうというとき、すぐ取り組めるものがあるのは、父親が基礎を作っておいてくれたからです」また、「農業に就いて日が浅い自分は、父親が長い経験で得たものには、まだまだかかいません」と素直に父親

英雄さんの実績を認めていました。イチゴは出荷期間が長いので、

途中の施肥で調整ができるのが利点、また価格が比較的安定しているところがよいので、しばらくは現在の経営内容で行きたいそうです。将来の抱負などたずねたところ「まだ自分の足元を見るのが精一杯、まずは父親を越えること」と話す言葉に力が感じられました。

花と緑の楽園
茨城県 フラワーパーク

スプリングフェア フラワーデザイン展や即売会



「花と緑の楽園」として皆さんに親しまれている茨城県フラワーパークでは、四月八日から四月二十三日まで「スプリングフェア」を開催いたします。フェア期間中の土曜日は百名様、日曜日には二百名様に抽選で「シャクナゲ」をプレゼントいたします。

また、九日の午前十一時からと午後二時からの一・二回バラの花などを使った「卓上花の作り方」についてのフラワーデザイン教室を参加無料で開催いたします。部屋を飾るインテリアとしても人気がある「卓上花」の作り方には是非チャレンジして

ください。十四日から十六日までには「フラワーデザイン展」として県内各地の講座で活躍している方々の作品を多数展示いたします。季節の花を美しくアレンジした作品を是非ご観覧ください。そのほか、花の売店では各種草花や春植え球根・果樹苗等を多数取り揃え、お手ごろ価格で即売する「スプリング・セール」も開催いたしますので多くの皆さんのご来園をお待ちしております。なお、フラワーパークの開園時間は午前九時～午後五時（入園は午後四時三十分まで）、月曜日は休園ですのでお知らせいたします。

い
き
い
き

グループ活動

⑨

幅広い年齢層に普及を

八郷バドミントンクラブ

バドミントンを通して、健康の増進や地域に住む者同志お互いの親睦を図ることを目的に活動しています。

毎週水・土曜日が定例の練習日で、対外試合や町の行事に参加したり、本クラブ主催の大会なども行っています。

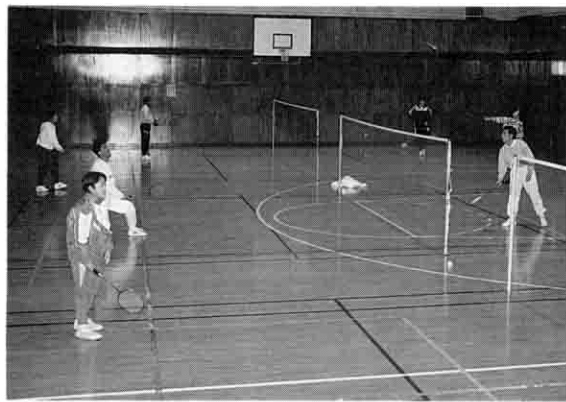
ほかに、いちご狩りやバーベキュー、ボーリング、スキーなど楽しいレクリエーションを実施しています。

小学校四年生以上の初心者を対象に、バドミントン教室を実施しています。最近子どもたちの参加も多いので、後進の育成を図るため少年の部をつくるなど、幅広い年齢層へ普及させることも考えています。現在、会費は五十八名、会費は年八千円です。八郷に在住、勤務の方なら入会できます。

◆代表者 瀬尾三男さん

連絡先 八郷町小幡一九六〇一三

☎四一三三〇一



歳月かけて丹精こめて育てる

八郷盆栽会

八郷町の盆栽の愛好者があつまつてつくられた会で、さつきや盆栽の振興と文化の向上を図り、さらに、会員相互の親睦を積極的に深めることを目的に活動しています。

丹精こめて手入れした作品が揃い、意見交換や指導・助言など会員の皆さんにとつてよい機会になります。

ほかに、年一回視察研修会なども実施しています。

会員は六十三名で、会費は年額千円です。八郷町に住むさつきや盆栽等の愛好者ならどなたでも入会できます。

◆代表者 上田孝之さん

連絡先 八郷町根小屋先〇

開催しています。展示会は、会員が

☎四三二六八〇八

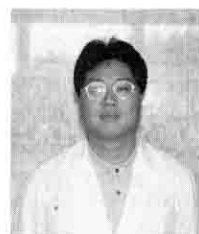


●最近気になる病気

骨粗鬆症

豊後荘病院

リハビリテーション科 安保雅博医師



「腰痛がひどくて、マッサージやあんまに行ったらけれどもよくならない、年だからしょうがないのかなあ」といわれる患者さんがたくさんいます。診察し、レントゲン写真をとると骨粗鬆症が見られ、腰椎や胸椎に圧迫骨折（骨がつぶれてしまっている状態）が、しばしばあります。

ある部分の骨がつぶれるとその骨の周りにある神経や筋肉が引っ張られたり、押されたりしますから当然痛みを感じます。背中や腰の頑固な痛みを訴える患者の約八〇％は骨粗鬆症だと言われています。

骨粗鬆症は圧倒的に女性に多い病気です。男性より最大骨量が少ないこと（骨に貯金が少ない）、出産や授乳によりカルシウムが減少すること、閉経により女性ホルモンが減少することなどが女性に多い理由だと言われています。しかし、現在多少骨が弱い状態であってもあきらめる必要はありません。骨はカ

ルシウムを十分とって、適切な運動をし、日光浴をするなどすれば若返ってきます。ゲートボールをしている老人の方で骨量が増えたとの報告もあります。骨粗鬆症が進んだ人が転倒した場合、骨折を伴ってしまいます。治療のための臥床が長引くと筋力低下が著しく進み、歩けなくなったり、ボケてしまったりすることがしばしば見られます。大腿骨頸部骨折の平均年齢は八十歳前後で、女性の平均寿命はそれ以上ですから、かなりの確率で寝たきりのまま死んでしまうこととなります。

骨粗鬆症は治るし防げる病気です。できるならば四十代から気をつけていただければ十分だと思います。また最近のお子さんは外で遊ぶ時間が少なく、ファーストフードを好むため骨がもろいと言われています。思春期は骨の強化が効率的に行われる時期です。くれぐれもカルシウム不足にならないように注意し、骨が弱いまま大人にならないように気をつけて。

歴史の散歩道 ③

両墓制

「両墓制」は靈魂不滅の他界観から生じた葬制で、関西地方を中心として全国的に広く分布する。県内では筑波山麓から県南・県西地方に多く見られる。筆者が「両墓制」という葬制に関心を寄せるようになったのは、県教育庁で文化財行政を担当していた昭和四十六年のころ、筑波山麓で農業に従事されていた方からの問い合わせからである。その内容は、「非課税のはずの墓地が課税の対象になっており、根拠が知りたい」という主旨であった。間もなく当該墓地の現地調査を行ったところ、意外な結果を知りえた。それは共同墓地ではなく、完全な個人墓の形



川又地内の両墓制共同墓地(隣接型)

本来「埋め墓」には死穢を忌避する観念、または、それに関連して遺体を放棄して早く忘却にゆだねようとする観念がつきまといているのが通例である。このような観念こそ「両墓制」を発生させ、そして、維持されてきた根本的条件と見なしうるのである。

しかし、前記の「埋め墓」は、長年にわたり遺骸埋葬の定められた場所として、「両墓制」でいう埋葬墓地の機能を維持してきたというものの、今日にのこる伝承などから知られるその

態で今日まで維持されているのである。墓地の位置は公簿上畑となっている地番の一面に営まれる私的な墓地という性格から、公簿上、未登録の墓地として扱われていたものと思われた。この墓地は、すでに江戸時代の後半のころから遺体の埋葬地に充てられており、そして、先祖代々の墓碑は近くの集落に在る寺院の境内墓地に建てられている。このような葬送墓制の習俗は、明らかに「埋め墓」と「詣り墓」という「両墓制」の形態を整えているものであるが、この「埋め墓」成因の背景には、他の地域に分布する「両墓制」のそれとは多少異なり、江戸時代の農村社会における過去の歴史の一端をうかがい知ることができるのである。

成因は、予想を越える次元の問題があった。すなわち、江戸時代の元和期以降は相次ぐ天災、地変などに加え、疫病の蔓延、物価の高騰などで人々は測り知れない難渋な生活を余儀なくした。このような社会情勢であっても幕藩体制は貢租確保を基本とするため、農村社会には自給自足経済を強制して出費を制限し、米以外の余剰生産物までも年貢として収奪した。したがって、農村の疲弊と窮乏化がすすみ、十八世紀に入ると貨幣経済の浸透と相俟って、しばしばおこった凶作や飢饉が農村を激しく荒廃させ、特に小作農民層の困窮はますます拡大していった。かくて、農地を保有していた農家のなかには、変貌する農村社会を生きぬく方策を模索する過程において、先祖伝来の農地を適切に子孫へ継承していくための自衛手段として、生産性の高い農地に家族の死後の世界を求めたのである。意

わが家COYU



大増

鈴木美咲ちゃん

父 克昌さん 母 玲子さん

平成5年11月16日生まれ(長女)

家族からの一言

ミッキーマウスが大好きで、ミッキー相手によくままごと遊びをしています。また、犬が好きなので覚えた言葉で動物はみなワンワン。健康で思いやりのある子に育ってほしいと願っています。

図したところは、いくら徴収したからといえども、先祖の眠る農地を手放すことはあるまいという期待があったことはいまでもない。このような経緯で造成され維持されてきた「埋め墓」は極めて珍らしい事例としてあげられる。八郷町域にも江戸時代に成立したと考えられる数例(川又・半田・上根地区)の「両墓制」の習俗を継承する共同墓地がある。いずれも「埋め墓」と「詣り墓」が整然と区分けされ、同一墓域内に存在して「隣接型両墓制」の形態をとっている。しかし、近年、火葬の普及が急速にすすみ、町域の「両墓制」も例外なく消滅していく傾向にあるのが現実である。それは、近代化とともに遺骨を尊重する観念が強まったからであろうし、また、遺骸埋葬の地を長くまつろうとする習俗が定着してきたからともいえるのである。

町文化財保護審議会委員 西宮一男

わたしの手料理



白菜シューマイ

食生活改善推進員 桜井裕子(小幡)

材料(4人前)白菜8枚 豚ひき肉200g 干しえび(戻して)大さじ1 干しいたけ2枚 ねぎ1本 しょうが1かけ 酒大さじ1 しょうゆ小さじ2 ごま油小さじ2 塩小さじ1/2 こしょう少々 水大さじ3 練りからし少々 トマトケチャップ少々 塩こしょう

作り方①白菜はたっぷりの熱湯に白い芯のほうから入れ、しんなりするまでゆでる。ざるに上げて広げて冷ます。②豚ひき肉に水で戻した干しえびと干しいたけのみじん切り、ねぎとしょうがのみじん切り、酒、しょうゆ、ごま油、塩、こしょう水を加えて、粘りが出るまで練る。③①を縦2等分し芯の部分は包丁の背で軽くたたいて柔らかくし、塩、こしょう少々をふる。④②を16等分して丸め③を芯の部分から巻きつける。⑤平らな器に④を並べ蒸気の上がった蒸し器に入れ7〜8分間強火で蒸す。⑥練りからし、トマトケチャップを添える。

平成6年度 オアシス作文優秀作品紹介

最優秀賞



あいさつは友達の輪を広げる 園部小学校四年 岡 安美夢

あいさつは、まほうの言葉。
「こんにちは」の一言が、友達の輪を広げるふしぎな言葉。

パセオパルケに引っこしてきてしたのは、もうすぐ四年生という春休みだった。次の日、わたしは、弟といっしょに、友達を作りたに外へ出かけた。
少し歩くと、なわとびをしている女の子がいた。わたしは、「あの子ちょうど私ぐらい。そっだ。

あの子と友達になろう。」と決心した。その子の近くにかけ寄ると、「こんにちは。お友達になってくれませんか。きのう引っこしてきてたばかりなので、一人もお友達がいらないです。」と話しかけてみた。すると、その子は、「こんにちは、わたし、杉本たか子。あと庭にいるのが、弟のりかず。どうぞよろしく。」とにこにこしながら自己しょうかいをしてくれた。

わたしもあわてて「わたしは、岡安美夢。こっちの弟は、岡安ゆう大。どうぞよろしく。」と、自己しょうかいをした。うれしくなつた。
そこへちょうどたか子さんのお母さんが仕事から帰ってきたので、たか子さんは、お母さんに私のことをしょうかいしてくれた。「あら、美夢ちゃんて言うの。めずらしい名前ね。よろしくね」とたか子さんのお母さんが言ってくれた。それから、たか子さんと弟とわたしで、パセオの中をさんぽした。小学生に会うたびにたか子さんが、わたしのしょうかいをしてくれた。

そのおかげで、わたしの友達は、一人からいっしょに十人ぐらいにふえた。四年生の子もいれば、五年生や六年生もいた。
「こんにちは。よろしくね」の一言が友達の輪を広げてくれて、あいさつっていいなあとしみじみ思つた。あいさつは人の心と心をつなぐ大事な働きをしていることがわかった。

園部小学校は、今、転校生がほとんどふえている。パセオパルケという住たく団地ができたからだ。四年生は四十三人いるけれど、その三分の一は転校生だ。
たんにんの先生がよく言う。「一年生の時、二十九人でスタートしたのに、今は四十三人。ずいぶんふえたねえ。新しい友達の輪を作ったり、広げたりするのに大事なのはあいさつ。それなのに、園部の子は、だんだんあいさつがへたになってきているよ」
それで四年生のめあては、「いつでも、どこでも、だれにでも、進んであいさつしよう」だ。わたしは、このめあてを実行している。他の人にもぜひ実行してほしいと思う。だれもが進んであいさつできるとなると、友達の輪を世界中に広げていけたら、どんなにすばらしいことだろう。

優秀賞



心が一つになった有中祭 有明中学校一年 島田 聡美

十月三十日、この日、私たちの学校は「有中祭」とよばれる文化祭が行われました。この有中祭に参加することを通して、協力することと感謝の気持ちの大切さを痛感しました。

ことしの有中祭は今までと違って、文化的、創造的な価値があるものにしようという考え方で進められました。当日のクラス発表も、「文化的、創造的価値のあるもの」といわれましたが、私にはとてもむずかしく感じました。そうではなくて私たちの文化祭は、初めから準備を進めることになりました。まず初めに、実行委員を決めた。

なくてはなりません。どちらかというと決めごとでは消極的になつてしまふのが私たちのクラスです。結局、学級委員がやることになり、私と国谷君に決まりました。私の心の中では、できればやりたくないという気持ちがあつた。有中祭の準備をすすめていくのはとても困難なことのようには思えたのです。

クラスみんなは、初めての文化祭に胸をふくらませているようでした。けれども、私の予想通り、クラスの出し物はなかなか決まりませんでした。クラスでまとめたとしても、生徒会の話し合いに持つていくと、「もう一度テーマにそつて考え直してください」と、冷たい言葉が返ってくるのです。何度も何度も話し合いをして、やっと通つた出し物は「歴史人物仮装コンテスト」でした。これらは、歴史上に存在した人物の仮装をして、さらにこの人物についての説

明やインタビューを加えながら発表するという内容でした。
いよいよ仮装の準備です。けれども、なかなか準備は、はかどりませんでした。みんなが、勝手なことばかり言っていたからです。けれども、文化祭の二、三日前ぐらいになると、わがままは言つてられません。私たちの目の色が変わってきました。ちよつとした時間をみつければ、グループで集まつて準備をしたり、練習をしたりと、協力できるようになってきました。何度も何度も、グループごとにリハーサルをして、いよいよ有中祭当日をむかえました。私たちの発表の時間になると、会場か

ら笑い声や拍手がおこりました。私は「しめしめ、うけているぞ」と思つてうれしくなりました。午後の部の閉会式では、審査の結果が発表されました。「学級の出し物」部門で「最優秀、一年B組」と、よばれたとき、私は、やったあ。すごい。すごい。ときげびたくなりました。
教室にもどると、今までがんばつた自分に、そして、協力し合つたみんなに「ありがと、ごろうさま」の気持ちをこめて、みんなで拍手を合いました。私も、みんなの心が一つになったお陰だなどと考えながら、手がいたくなるほど拍手をおこりました。

「ブルル」「ブルル」と何回も、電話の音がなりました。おかあさんが、だいたいどこから、「まいちゃん、電話に出てちょうだい」と言ったので、わたしは、いそいで電話に出ました。

「はい、赤羽根です。どちらさまですか」と聞いた相手の方は「あれ、まちがえた」と言っ、「ガチャ」と切ってしまいました。おかあさんに「だれからだったの」と聞かれたので、「まちがい電話だったみたい。ごめんなさいも言わないで、きっちゃったの」と言

いました。わたしは、ちょっといやな気持ちになりました。

夜になって、わたしはお父さんの会社に電話をかけました。いつも、お父さんが電話にでるので、「お父さん、何時に帰るの」とさいしょから言っていました。すると、ちがう人の声でした。あつ、どうしよう。わたしは、びっくりして、なんにも言えなくなりました。そして、はずかしくなつて、なんにも言わないで、きょうとしていたらおかあさんが、かわりに、「すみませんでした。まちが



優秀賞

まちがい電話

柿岡小学校二年 赤羽根 麻衣

えました」と言ってくれました。わたしは、さっきのまちがい電話のことを、思い出しました。まちがった人も、わたしと同じように、はずかしくなつてきつてしまったのかなと思いました。わたしが、まちがって電話をかけたとき、

もし、あのままきってしまったら、相手の人も自分と同じような気持ちになつただろう。でも、お母さんが「すみませんでした」とあいさつをしてくれたので、わたしもほっとした気持ちになりました。

お母さんに「ありがとう」と言いました。おかあさんは、「まちがいは、だれにでもあるし、まちがったときは、すみません、しんせつにしてもらったときは、ありがとうと言つたほうが、とてもうれしい気持ちになるよ」とおしえてくれました。

わたしは、これからは、すなおにあかるく、「ありがとう」「すみません」とはっきり言うようにしたいと思います。



優秀賞

戦友

真家 長谷川 雅吾

戦後五十年が過ぎ、私どもの戦友会も二十七回連続行っています。私は近衛連隊に現役兵として昭和十四年入営、少しばかりの教育で出征です。すでに十四年は兵員不足でした。入営前日長谷川君たち近衛兵は戦地に行きませんかと言つてくださったが、とんでもないことで前記のとおり中支に交代兵として出征。行く先は私も兵はどこに行くか分かりません。

は切っても切れません。愛情の続きです。共に助け合い「ありがとう」の言葉もつきません。

着任地は中支第一線部隊でした。着任した夜から銃声が聞こえました。部隊は敵前上陸舟艇部隊本郷部隊でした。昭和十四年、十八年十月まで、南方シンガポール上陸作戦、湖北上陸作戦など二十八位の作戦の連続でした。玉の下での約五十年ですから戦友としての絆

戦友の内にも特に仲の良い戦友がいました。千葉市幕張の鈴木豊司君です。昭和十八年十月に共に戦地より無事帰り、戦友会の度同室でしたが、今から十年前病氣になり千葉医大病院に入院し、私は雨の日百姓が休みだったから、鈴木君が4か年入院中数十回面会、お見舞いに行っていました。鈴木君も今日は雨だから長谷川君が来

てくださるかと待っているようになり、行かずに居られませんでした。共に第一線で助けられたり助けたり、戦友の約五か年間「ありがとう」と言う言葉で生きて来られたのです。面会に行く時は良いのですが、帰り親しい戦友を一人にするのかと思うと鈴木君の気持ちに分かるようになります。でも、帰る外ありません。帰りに私がバス停に立っていると彼は、病室の窓際に立ちハンカチをふります。私も手をふり、さようならで

すが鈴木君も泣いていたのでしよう。私も泣けて泣けてたまりませんでした。

鈴木君の病氣も悪い方にと進行して、最後は初富病院に送られ、ご家族の誰かが毎日病院に来ていましたが、私がたまたま伊香保にての戦友会の帰りに病院によりまして。初富は松戸より京成で行くと近いのでお見舞い面会に行きましたら、ご家族の方が来て帰った後でしたので鈴木君が安心したのかすやすやと眠っている姿を見て可哀想で、長谷川が来たぞと起こす気になれませんでしたので、「メモ」用紙に何時何分ごろ長谷川が来たが、良くねむっていたので帰りますと書いて置いてきましたが、その時すでに相当体力がなく、死

の一手手前でした。明日奥さんより長谷川さんが来てくださったのだから起こしてくだされば良かったのにと言う電話でしたが、親愛なる戦友に言葉をかける事が出来ませんでした。その時が最後の面会お見舞いとなつてしまったのです。間もなく亡くなりました。ご心配ありがとうございました。連絡がありました。葬式には戦友の方にも参列ご焼香してくださいました。共に「ありがとう」「すみません」と言いながらの戦友に對し、心からご冥福をお祈り申し上げます。亡き後もご家族の方とつき合っている現在です。

これからも「ありがとう」の愛情を大切に生きていこうと思います。

みんなの広場



小幡 藤田香織 (12)



大增 岩田直美



山崎 ゆきぼたん



山崎 かのん (14)



月岡 萩原康世 (10)



上林 文月

私とひとこと

新 庁舎を拝見させていただきまし
た。一階の広いスペースの一部

に「町民の情報広場」として伝言板
なるもので町民同志の情報収集・情報
交換の場を作ったらいかがでしょう。
各家庭で着られなくなった子供服や
不用になった生活用品、又、犬猫の里
親募集など、できれば休日でも利用で
きるようにしていただけたらと思いま
す。

川又 小松崎弘美(34)

♣ 一階ロビーにパネルなどを設置
し、伝言板として利用いただくのは可
能かと思えます。しかし、美観の点な
どを考えますと何でもかまわず貼り付
けるわけにはいかないでしょう。また
休日の利用については、ロビーへの出
入りは目直がいますので可能ですが庁

習字コーナー

評 (財)独立書人団審査員 関 翠邱

(財)独立書人団会友 渡辺臻山

(財)独立書人団会友 荻部江舟

唐代の剛直の将顔真卿のスケー
ルの大きな書を真剣に形臨する氏
の姿勢に感服、更に進境を念願し
ます。

羊毛の長鋒筆を駆使、陰陽の線
深く筆を吊り円転してリズムに乗
った運筆に切れ味ありすばらしい。

倉管理上の問題があり制約があります。
活用できるスペースの有効利用は、今
後検討する余地はあるでしょう。

広報係

先 日お知らせ版でごみの収集の変
わることを知りました。

いつも、ピンは別だといったと思っ
ていました。それが、今度は分けて出
せるようになるのとこと良いことと
思いました。

これからは、ごみを出す私たちも、
出す日をまちがえないで、忘れずに出
すようにしたいと思います。

須釜 塩谷節子

♣ ごみの分別収集は四月から変わる
ことになりました。これは、ごみを再利

用する方向で進めるものです。混入
していると仕分けしなければならませ
ん。効率的に作業ができるように皆さ
んのご協力をお願いいたします。

生活環境課

今 年は役場新庁舎がオープンした
写真が表紙にのって八郷町の住
民としてたいへんうれしいです。

最近気になる病気は良く読んでいま
す。

♣ 最近気になる病気は、石岡市医師
会病院、豊後荘病院の先生方のご協
力で続けられますことに感謝していま
す。

今後、先生方の事情が許される限
り続けたいと考えています。 広報係

フラワーパークの入園券
とふれあいの森乗り物券が
ペアで当たるよ

広報クイズ 84

3つの答えの中から正解を選び
ハガキに書いて送ってください。

①合併40周年・庁舎竣工式典が行
われたのは何月何日

(A) 2月20日 (B) 2月21日

(C) 2月22日

②合併40周年記念に開催した歌謡
ショーのタイトルは

(A) 春を呼ぶ声 (B) 春の歌声

(C) 春のため息

③歌謡ショーで歌った男性歌手は
誰でしょう。

(A) 前川 清 (B) 山川 豊

(C) 大川栄策

【応募の方法】

☆ハガキに広報クイズ84と書き、
答えの記号(例1-A)、住所、氏
名、年齢、世帯主と「私もひとこ
と」へのご意見や広報の感想など
を書いて送ってください。イラスト
やマンガも大歓迎。

★全問正解者の中から10名に、ペ
アでフラワーパークの入場券とふ
れあいの森の乗り物券をプラスし
てプレゼントします。

★締切日 平成7年4月15日

★応募先 〒315-01八郷町柿岡56
80-1八郷町役場秘書広聴課

★当選者の発表 本紙5月号

【広報クイズ82の当選者の発表】

正解は1-B、2-C、3-Aでした。
応募総数36通、正解36通の中から
次の10名が当選しました。

佐藤貞子(柿岡) 長谷川晴子(山
崎) 関美代子(弓弦) 平みき子(柿
岡) 上野範子(小屋) 小澤千恵子
(柿岡) 山口節子(上林) 大沢幸
広(柿岡) 鬼沢とみ枝(小幡)
富田たか(大塚)



柿岡 トンボ



真家 服部浩之
& 真之 (10)



月岡 萩原志づ

●やさと文芸

短 歌

吉田 次郎 選

朝の日に八郷庁舎の輝きて町発展の希望ふくらむ

大増 田村 義利

初日の出まばゆく昇るしばらくを両手合わせて健康祈る

弓 弦 塚田 きよ

夫逝きて二十余年の歳月をつぶさに想う梅の咲く頃

中 戸 浅野 千恵子

俳 句

綿 引 鼓 峰 選

一と跨ぎほどの小川や水温む

瓦 谷 山崎 けい子

震災の人々想ふ余寒かな

大 塚 友部 ゆき江

干柿を軒に連らねて大葉家

東 成 井 小島 せん

俚 謡

鈴 木 弦 月 選

かけたミルクの苺にまざる甘い二人の喫茶店

加 生 野 中島 徳 門

遙か遠くの愛宕の灯影ゆれて亥歳の豆を撒く

真 家 川崎 夫 久

地震報道悲惨の限りはづむ情けの義援金

大 塚 友部 ゆき江



暖かい春の陽ざしを浴びてタン
ポポが咲き、ヨモギが伸びてきま
した。桜前線も北上してきます。

やさ
と
点
描

「まち」の「話題」で「き」ごと

身近な出来事や地元の
話題をおよせください
(連絡先・秘書広聴課 内線 一三四三)

ときめき
ティータイム

六年生のお別れ公演 「かたくりの花」



三月四日小桜小学校で六年生を送る会
が開かれました。一年生から五年生まで
の在校生が、劇やコーラスなどを披露
し、それぞれ最後に「六年生の皆さん、
お世話になりました。中学校へ行っても
がんばってください」とお礼のことばを
述べました。

また、卒業する六年生が、担任の磯前
先生の指導などで練習を重ねた総合表現
「かたくりの花」を披露しました。

歌があり、セリフがあり、全員の流れ
のある動きがみごとに統制されたステー
ジに、父母の皆さんもさかんに拍手を送
っていました。

卒業する皆さんには、こうしたものに
取り組んでつくり上げたすばらしいチー
ムワークや、何事にも挑戦し努力する気
持ちは忘れずに、これから中学校へ進ん
でもらいたいものです。

柿岡中が幡谷教育振興財団賞受賞

幡谷教育振興財団(幡谷祐一理事長)

は、昭和五十九年に設立され、次代を担
う児童、生徒の科学への関心を高め意識
の向上と豊かな創造力を啓発し、優れた
科学者育成を図り、学術・文化の発展に
寄与する願いをこめて、毎年六校の優秀
校に「理科教育助成金」として、一校に
つき百万円が贈呈されています。

今年で十一回目をむかえたこの表彰に
柿岡中学校(飯塚栄校長)が選ばれ、三
月一日、県立歴史館で贈呈式が行われま

した。柿岡中学校は、昨年、県指定の環
境教育教材開発研究校として、長年積
み重ねられてきた環境教育の研究・実践
の成果を発表し、全国的な評価を得てい
ます。なお、柿岡中はほかにも、六年度の
学校賞として、ソニー教育財団表彰、「エ
コいばらき」環境保全基金助成、霞ヶ
浦水質浄化推進振興財団表彰、学校環境
浄化コンクール準特選や花と緑の環境美
化コンクール優良賞などを受賞していま
す。



ありがとうございます

○町内全保育所へ図書(総額六万
四千円分)寄贈 八郷町縫製組合
○新庁舎竣工記念として陶器

大塚 石原清志
○新庁舎竣工記念として花瓶

石岡信用金庫理事長 平井金吾
○新庁舎竣工記念として俳句額

一面 つくば俳句会



高桑アキ子(真家・19歳)さん

ただ今専門学校へ通って経理の
勉強中です。時間があるときは音
楽を聴いたり、友達と買い物。



新入児童へ黄色い帽子プレゼント

四月から小学校に入学する新しい一年生を交通事故から守るために、八郷農協（萩原久組合長）から、ことしも黄色い帽子がプレゼントされました。

去る二月十五日、萩原組合長らが教育委員会を訪れ、軽部教育長へ手渡されま

した。教育委員会では、さつそくことしの新入児童三六一名に配るそうです。

四月には、真新しい帽子をかぶった子どもたちを見かけると思いますが、安全に通学できるように、ドライバーの皆さんの協力をお願いします。

町一斉に清掃作戦

三月五日、霞ヶ浦をきれいにするため霞ヶ浦清掃大作戦が行われました。

町内各地区では、一斉に道路の空き缶拾い、側溝の清掃、霞ヶ浦へ流れ込む河川周辺の草刈りや清掃などを行いました。霞ヶ浦の浄化には、生活排水対策や水

田の施肥管理や水路管理など、農業面からの水質浄化対策など多方面から取り組みなければなりません。町一斉に行なうこうした清掃作戦は、霞ヶ浦浄化ばかりでなく、環境美化にかかわる大切な取り組みと言えるでしょう。

身近かなところで生音の感動

三月四日、ギター文化館では、ブラジルのトップ女性ギタリスト、クリスチーナ・アズマを迎えて、ギターリサイタルが催されました。ギター愛好者にとつてはたまらない、生音の感動をたっぷり味わいました。なお、ギター文化館コンサートシリーズ六月までの企画は次のようになっています。

四月八日(土)開場午後五時三十分、ヨーロッパ宮延音楽の夕べ、チェンバロ岩淵

恵美子、五月六日(土)開場午後五時三十分近藤敏明ギターリサイタル、六月四日(日)開場午後三時三十分、デオ・ヒアン、シヨロの輪カバキ・ニヨ井上みつる、ギター田島道生ほか、六月二十四日(土)開場午後五時三十分、吉澤実「ふえはうた」コンサート、ギター飯田明、各コンサートとも入場料は三千円です。米場の際は電話予約してください。(土・日)四六一二四五七(ギター館)、(月・金)四六一一八四五(飯田宅)



■訂正 二月号に掲載しました町民マラソン大会結果の中で、壮年男子五十歳以上の部③久保田三郎とありましたが、オーブン参加の関係により、③林義雄の誤りでした。おわびして訂正します。



今月号から、今年度の優良農業後継者として表彰された三名の方をシリーズで紹介していきます。

今月の最初に紹介したのは、金指の小松崎幹司さん。小松崎さんは、両親といちご栽培に取り組んでいます。いまの時期収穫で忙しい中、お話をうかがいました。

農家の跡継ぎが農業から離れていく中で、会社勤めから農業へと道を変えた小松崎さん。お話の中にも農業に対する意欲が感じられました。しかし、父親の英雄さんの評価は「あまり役に立たん」とかなり厳しいようです。それでも表情には跡継ぎがしつかりと育っているという安心感がありました。これから希望を持って農業を続けて行くためには、良き伴侶が。明るい農家づくりに多方面から協力が必要でしょう。(市)

仲間と共に学んだ成果を発表

中央公民館では、三月四日・五日の二日にわたって、第三回生涯学習のつどい、第十二回公民館まつりが盛大に開かれました。大ホールでは、茨城大学生涯学習教育研究センター助教教授長谷川幸介氏の「それぞれの人生、それぞれの生涯学習」と題した講演や小幡ばやし、片野排禍ばやしの発表があり、子どもたちが立派に受け継ぎ熱演している姿に、観客の皆さんから盛んな拍手が送られました。



陶芸同好会の皆さんの指導を受け手びねりを体験



各コーナーには力作が展示されました

三月五日の日曜日は、天候にも恵まれ、来場者も多く、二日間では延べ約一千五百名が来場しました。中央公民館講座室などでは、公民館講座や同好会で製作に取り組んだみごとな作品が、多数展示されました。水墨画や陶芸作品、木目込人形など力作が並び、ほかにも藤工芸、パッチワーク、手編み、袋物・七宝焼・俚謡など皆さんの努力の経過がうかがえるものばかり

りでした。陶芸実習室では陶芸同好会の皆さんの指導で、手びねりの体験コーナーなどがあり楽しそうに「モスラの幼虫」の製作に取り組んでいる子どもたちの姿がありました。

生涯学習のつどいとして行われた講演では、長谷川幸介氏が独特の技術で、生涯学習の必要性やあり方を分かりやすく講演、笑いの中にも印象に残る内容でした。

また、小幡地区に残る小幡ばや

しを継承し、けいこを重ねた小幡小の子どもたちがバチさばきを披露、また、片野排禍ばやしの発表では、五歳の子狐が登場、そこには伝統芸能が着実に子どもたちへ引き継がれている姿がありました。

オアシス標語優秀作品

最優秀作品

はすかしきこらえて一言ありがとう 園部中三年 岩瀬 智孝

優秀作品 (小学校の部)

人と人つなげるきっかけあいさつで 林小六年 甲 圭一

優秀作品 (中学生の部)

オアシスは明るい社会のかくし味 南中二年 桜井真理子

優秀作品 (一般の部)

あいさつは心の扉開くカギ 山崎 荒井 幸子



小幡ばやし保存会の小学生の皆さん